

平成 20 年度 活動 報告

(平成 20 年 4 月 1 日～平成 21 年 3 月 31 日)

1. 平成 20 年度活動の基本方針

個人の生活や企業活動という身近な生活・地域社会に対して、地球温暖化防止と持続可能な地域社会の構築をめざし、新エネルギーの技術開発、普及活動及び技術支援等、CO₂排出権取引等の温暖化防止メカニズムの研究および普及促進等の事業を行い、地域社会の経済振興と地球環境保全の推進に寄与することを方針とする。

その 1 地域に根ざした循環型の新エネルギーでCO₂抑制に寄与

その 2 CO₂排出権取引をはじめ、あたらしいメカニズム・システムの開発・普及

その 3 市民、企業等の緑化推進・循環型社会構築等に関わる社会貢献活動の普及・促進

平成 20 年度は、昨年度行われた事業を今年度も引き続き行い、温暖化防止対策に関する普及・啓発を図る事業や、技術支援・調査、研究活動事業などを通じて、本NPOができる活動範囲を広げる。さらに、長野市の社会教育・環境教育施設の管理運営・業務や、エコドライブプロジェクト、ながのエコシティプロジェクトなども引き続き行い、継続的な普及啓発活動を展開する。

2. 平成 20 年度の事業実績概要

今期は、設立から 6 年目を迎え、昨年度に引き続き指定管理者プロジェクトにおいて 2 施設の指定管理者を行うとともに、エコドライブプロジェクトやながのエコシティプロジェクトなども実施して、さらに事業の幅を広げることができた。関係機関等外部協力者の連携をはじめ、事業や普及啓発活動において、臨機に対応を検討しながら、成果を残すことができた。

昨年に引き続き指定管理者として運営しているリサイクルプラザに 6 名の常勤スタッフを配置したほか、事務局アシスタントに 2 名の計 8 名の有給雇用職員（パート勤務含む）の体制とした。

(参考 1 会員現況 平成 21 年 6 月 10 日現在)

1. 正会員（個人会員）	21 名
2. 正会員（法人会員）	12 社
3. 一般会員	2 名
4. 賛助会員	0 名
5. アドバイザー会員	10 名

合計 45 名（法人会員代表を含めて 66 名）

※正会員（個人会員） 4 名増、2 名減、正会員（法人会員） 2 団体増、2 団体減
アドバイザー会員 1 名増、1 名減

(参考 2 法人会員について)

- ①法人会員については、その法人に属する 5 名まで名簿に記載することができます。
- ②法人会員の議決権は 1 法人あたり、申し込み時に登録した代表者の 1 票とします。
- ③当NPO法人と業務委託等の契約を行う場合は、登録された会員名を基本とします。したがって、会社等の組織と契約を締結するには、法人会員であることを原則とします。

3. 活動の成果

今年度は、(1) 温暖化防止対策に関する普及・啓発を図る事業、(2) 地球温暖化防止に関する調査・研究事業、(3) 自然エネルギーの導入に関する技術支援・コンサルティング、調査、研究事業、(4) 自然エネルギー・地球温暖化・緑化推進に関するセミナー・シンポジウム・ワークショップの企画・運営、(5) 自然エネルギー・地球温暖化・緑化推進に関する講師派遣・技術者派遣、(6) 環境保全に関する施設・装置の企画・設計・施工・監理に関する事業、(7) 公共施設の維持・管理・運営を行政と協働で行う事業の7事業を行った。

それぞれの内容について、事業ごとに整理する。

(1) 温暖化防止対策に関する普及・啓発を図る事業

ながの環境フェア 2008 や信州環境フェア 2008 などのイベントに、雨水循環利用、自然エネルギー利用、県産材を利用した家づくりなどの展示物を出展して、地球温暖化防止対策に関する普及啓発活動を行った。また、昨年度に引き続き長野市役所第二庁舎 1 階ロビーに、ペレットストーブ・ペレットに関するパネルを提供している。

活動内容一覧

実施日時	事業内容	実施場所	摘要
2008/9/7	ながの環境フェア2008	長野市清掃センター	指定管理者 プロジェクトにて (全参加者 5,500 名)
2008/8/23 ～8/24	信州環境フェア2008	ビックハット (長野市若里多目的 スポーツアリーナ)	展示ブース来場者 326 名
2006/12/21 ～展示中	ペレットストーブ・ペレットに関するパネル提供 (長野市森林整備課) 2008 年 3/25 にパネル更新	長野市役所第二庁舎 1 階ロビー	森のエネルギー 推進プロジェクトにて

(2) 地球温暖化防止に関する調査・研究事業

○県産材利用プロジェクト

古民家木材を解体したときに発生する立派な梁や柱を廃棄処分せずに活用する方策を検討する『古民家木材のすまい検討委員会』を開催し、古民家木材（古材）の利用普及のための方策検討などの意見交換を行った。「信州環境フェア 2008」及び「ながの環境フェア 2008」に古民家木材のサンプルや、古材で作られた照明器具などを展示し、来場者に対してアンケート調査を行い、市民の意識調査を行った。また、古材と新材を長野県林業総合センターで理化学試験調査を行い、様々な古材の強度確認を新材との比較を行った。これらの内容を『古民家解体からでる古材を使った住宅の調査・普及活動』報告書としてまとめ、今後の活動に役立てると共に、『古民家木材でつくる家づくり』パンフレットを作製し、普及啓発活動に活用した。

活動内容一覧

実施日時	事業内容	実施場所	概要
2008/8/21	『古民家木材のすまい検討委員会』開催	国立長野工業専門学校	—
2008/8/23. 24	「信州環境フェア 2008」に古民家木材のサンプル及び同材で作製した照明器具を展示し、来場者に対してアンケート調査を行った調査を行った。	長野市ビックハット	アンケート調査 参加者 74 名
2008/9/7	「ながの環境フェア 2008」に古民家木材のサンプルを展示し、来場者に対してアンケート調査を行った。	長野市リサイクルプラザ	アンケート調査 参加者 57 名
2008/12/12	古民家木材と新材の理化学試験による比較を行った。	長野県林業総合センター	—

○エコドライブプロジェクト

車の保有台数が多い長野県における運輸部門のCO₂削減を目指し、エコカーの活動をきっかけに、エコドライブなどの知識を身につけ、貴重な石油資源の有効活用と地球温暖化防止を実践していこうと、『エコマラソン 2008 長野』を開催した。今年度が第2回となる長野大会では、エムウェーブを会場として全国大会の燃費競技に準拠して燃費計測会を行った。また、みんなで地球温暖化防止を実践するように、エコドライブや、環境と調和したまちづくり展などを同時開催し、大勢の参加があった。

また、2月には東和田情報ステーションにてエコカーやエコドライブを紹介するイベントを開催し、エコマラソンに参加した篠ノ井西中学校の生徒によるエコカーのデモ走行や、エコドライブのパネル展示などを行った。

活動内容一覧

実施日時	事業内容	実施場所	概要
2008/9/13 ～9/14	エコマラソン 2008 長野	エムウェーブ 長野市青少年錬成センター	参加者 464 名
2009/1/31 ～2/1	東和田情報ステーション展示	東和田情報ステーション	参加者 61 名

OECD（持続可能な開発のための教育）・環境教育プロジェクト

昨年度に引き続き、国立長野高専・信州まち育て研究会と協働で行う共同研究事業であり、長野市青少年錬成センターを活動拠点として、ビオトープ池の管理や里山の手入れなどの環境学習を行った。これらの活動を通じて、参加者が長野の森林を身近に感じ、そして後世に継承する大切な資源であることを実感するとともに、森林保全に向けた普及啓発を行った。本事業に関する講師派遣については、「(5) 自然エネルギー・地球温暖化・緑化推進に関する講師派遣・技術者派遣」の項目でまとめている。

(3) 自然エネルギーの導入に関する技術支援・コンサルティング、調査、研究事業 ONPO活動促進プロジェクト

地域や自然環境の保全などに取り組むNPO活動を支援するための助成制度に6件応募し、5件が採択された。4件は平成20年度事業として実施した。各事業の実施内容については、各事業の該当する項目で説明する。

①平成20年度 住宅関連環境行動助成事業

申請先：住宅生産団体連合会

テーマ：「古民家解体からでる古材を使った住宅の調査・普及活動」

内容：古民家木材を解体したときに発生する立派な梁や柱を廃棄処分せずに活用する方策を検討する『古民家木材のすまい検討委員会』の開催、「信州環境フェア2008」及び「ながの環境フェア2008」に古民家木材のサンプルや、古材で作られた照明器具などの展示、古材と新材の強度比較確認を行う。これらの内容を『古民家解体からでる古材を使った住宅の調査・普及活動』報告書としてまとめ、普及啓発活動を実施する。

助成額：1,000,000円

実施期間：平成20年7月1日～平成21年3月15日

②平成20年度 地球温暖化防止活動支援補助金

申請先：長野県地球温暖化防止活動推進センター

テーマ：「省エネルギーによる地球温暖化防止活動」「森づくりによる地球温暖化防止活動」「自然エネルギーの利用促進による地球温暖化防止活動」

内容：エコカーの活動を通じて石油資源の可能性と大切さを考えるとともにエコドライブなどの知識を身につける「エコマラソン2008長野」や、小田切の里山をフィールドとした森の機能やつきあい方を考える環境学習会、バイオマスエネルギー利用など自然エネルギーを見て、知って、体験する会など、地球温暖化防止活動の普及啓発に繋がるイベント等を実施する。

助成額：400,000円

実施期間：平成20年8月1日～平成21年3月31日

③平成20年度 森と暮らしの森林基金事業

申請先：国土緑化推進機構

テーマ：「森の恵みと森の動物とのふれあい」「森の恵みの家づくり」「森の恵みの薪作り」「森のエネルギーの活用」

内容：地域の自然環境や資源と共生した低炭素社会におけるエコ生活を具体的にイメージするため、植物や動物とのふれあいを通じての身近な体験、地域における低炭素化社会づくりを学習する講座、森の恵みを持続的に得るために、道具（チェーンソー、薪割り斧）の安全な使い方から薪作りまでを学習する講座を開催して、森の恵みの活用、地球温暖化防止につながる普及啓発活動を実施する。

助成額：408,492円

実施期間：平成20年9月1日～平成21年3月31日

④平成 20 年度 長野市芸術文化振興事業

申請先：長野市芸術文化振興基金運営委員会

テーマ：「廃材アート 2009」

内 容：身近な不用品をアート作品にすることで、新たな価値を生み出すとともに、不用品に対する視点の変換を試みる。新しい目線でゴミの減量化や環境について広く普及・啓発活動を実施する。今年度から実行委員会形式の運営（補助対象事業）とし、リサイクルプラザの自主事業と連携しながら開催することとした。申請者は実行委員会とし、本NPOが事務局として応募し、採択となった。

助成額：100,000 円

実施期間：平成 20 年 9 月 29 日～平成 21 年 3 月 31 日

⑤トヨタ財団 2008 年度地域社会プログラム

申請先：財団法人トヨタ財団

テーマ：「環境・モノ」づくり長野ー地域で支える世界に羽ばたく次世代を育てよう！ー

内 容：長野市には、長野市立篠ノ井西中学校をはじめ「エコカーづくり」による環境と地域を担う次世代の育成活動に取り組む学校がある。県立長野工業高校、国立長野高専や社会人などのチームもエコカーづくりの活動を行っており、これまでもエコカーづくりをしている学校の教員で「エコマラソン実行委員会」を組織し、エコカーの燃費計測会や交流会を開催してきた。こうした取り組みは、市民や地域、行政が連携・協働によって支援していくことにより、地域における次世代の育成や環境保全の意識啓発を発展させ、継続させていくことができるものと考えられる。

昨年、長野市では、市民、市民団体、行政等が協働して市民事業を行う「ながのエコシティプロジェクト推進協議会」が設立され、太陽光市民発電所や森のエネルギー活用といった環境保全活動の普及啓発事業を行ってきた。

本プロジェクトでは、この組織による活動を広げ、地域を担う次世代の育成と環境保全活動を、地域社会で支え広げるための仕組みづくりを行う。

申請は、協議会事務局として当NPOが応募し、採択となった。

助成額：4,000,000 円（2 ヶ年：初年度 3,000 千円、次年度 1,000 千円）

実施日：平成 21 年 4 月 1 日～平成 23 年 3 月 31 日

（４）自然エネルギー・地球温暖化・緑化推進に関するセミナー・シンポジウム・ワークショップの企画・運営

①「持続可能な地球の資源～太陽と森の恵みでエコ生活！」プロジェクト

■おひさまの恵み体験（親子ではじめる省エネ行動）

『ながのエコシティプロジェクト』（8 ページに記載）では長野市内に太陽光市民発電所を設置してきた。この場所を地球温暖化防止の情報発信のシンボルとしてイベントを開催し、参加者が太陽光エネルギーへの知識を身につけ家庭での導入を促進した。また、あわせて家庭で実践できる省エネ行動を親子で学習するイベントを開催した。

1) 体験講座：親子ではじめる省エネ行動！

地域の特色あるエネルギーについて理解を深め、家庭でできる自然エネルギー施設の導入をイメージするため、家族で太陽光発電の仕組みを勉強する機会を提供した。

2) 体験講座：ミニソーラーカーを作ろう！～太陽光発電のしくみ～

親子でペットボトルを使ったミニソーラーカーの体験工作教室を開催した。

3) 体験講座：太陽光クッキング教室

ソーラークッカー（太陽熱の集熱器）を使ったクッキング体験を行い、太陽の持つエネルギーを体験する講座を開催した。

■森の恵み体験 No.1・No.2

『ながのエコシティブロジェクト』（8ページに記載）では、薪ストーブやペレットストーブによる木質バイオマスの普及促進を行ったが、この事業の対象者や公募参加の市民を対象としてイベントを開催した。

1) 体験講座：森の恵みと森の動物とのふれあい

地域の自然環境や資源と共生した低炭素社会におけるエコ生活を具体的にイメージするため、植物や動物とのふれあいを通じて、身近な体験を行った。森の恵みを活用することがCO₂の排出を抑制し、また、共に信州を住まいとしている動物（フクロウ、ミミズク等）の生息環境を守ることが地球温暖化防止につながる講座を開催した。

2) 体験講座：森の恵みの家づくり

地域産の木材や古民家木材などを活用した家づくりについて理解を深める講座を開催し、地域における低炭素化社会づくりを学習する講座を開催した。

3) 体験講座：森の恵みの薪作り

木質バイオマスエネルギーを理解するために、薪やペレットなどの燃料に親しむ。さらに、森の恵みを持続的に得るために、道具（チェーンソー、薪割り斧）の安全な使い方から薪作りまでを学習する講座を開催した。

4) 体験講座：森のエネルギーの活用

木質バイオマスエネルギーを研究している学識者を講師に迎え、正しい薪の作り方、エネルギー効率のよい薪の燃やし方、薪ストーブやペレットストーブの安全なメンテナンス方法を学習する講座を開催した。

活動内容一覧

実施日時	事業内容	実施場所	概要
2008/11/9	「森の恵み体験 No.1」イベント	昭和の森公園	参加者 38 名
2008/11/16	「おひさまの恵み体験 (親子ではじめる省エネ行動)」イベント	コープながの 長野稲里店	参加者 30 名
2008/11/29	「森の恵み体験 No.2」イベント	茶臼山自然植物園	参加者 27 名

②ながのウェルカムガーデン

長野駅前およびJR長野駅コンコースにおいて、平成21年4月4日から6月8日までの間、コンテナガーデンによる都市緑化の普及啓発イベントの企画に参加した。会期は善光寺御開帳およびASPACE（長野青年会議所）会期であり、多くの市民、来訪者に対して、花と緑でお出迎えするイメージアップとともに都市緑化の普及啓発と都市緑化資機材のモデル展示を行うこととした。事務局は日本造園修景協会長野県支部。本年度の事業としては、『リサイクルガーデン』の製作を行った。

■リサイクルガーデン

リサイクルプラザの事業の一環として、廃プラスチック利用のプランターや合成木材、プラザで作った生ゴミ堆肥などを用い、資源の有効利用と廃棄物減量化をアピールするためのガーデンを製作した。リサイクルプラザスタッフのほか、市内NPO、横浜野島自然観察探見隊などが参加し、ワークショップ形式で製作を進めた。

平成21年3月27日東和田情報ステーション：参加者 87 人

(5) 自然エネルギー・地球温暖化・緑化推進に関する講師派遣・技術者派遣

長野市ものづくり支援センターで開催された長野市環境審議会地球温暖化対策専門部会に理事長が委員として出席した。このほか、長野市青少年錬成センターで開催された自主事業イベントや、高原学校の環境学習の講師を派遣し、活動支援を行った（9ページ指定管理者プロジェクトを含む）。

活動内容一覧

実施日時	事業内容	実施場所	摘要
2008年度	長野市環境審議会地球温暖化対策専門部会	長野市ものづくり支援センターほか	委員として出席1名

(6) 環境保全に関する施設・装置の企画・設計・施工・監理に関する事業

①雨水循環利用プロジェクト

昨年度に引き続き、雨水循環利用の普及啓発活動を実施した。今年度は、雨水利用装置を長野市内に1セット販売・設置を行った。

活動内容一覧

実施日時	事業内容	実施場所	摘要
2008年度	雨水タンクの設置	長野市内1箇所	

②森のエネルギー推進プロジェクト

化石燃料に替わる木質系バイオマスであるペレットと、これを利用するストーブの普及による森と街を資源循環でつなぐことを目指し、普及啓発活動を行った。

活動内容一覧

実施日時	事業内容	実施場所	摘要
2008年度	ペレット販売	CO2バンク推進機構事務局	1,645袋

③ながのエコシティプロジェクト

昨年からの繰り越しとなった「ながのエコシティプロジェクト」は、長野市環境部と連携しながら企画し、環境省の平成19年度「環境と経済の好循環のまちモデル事業」の地域として全国7地域の1つとして選定された。本事業は、当団体が事務局となり、市民団体・環境団体・長野市役所等で構成されるまちづくり協議会『ながのエコシティプロジェクト推進協議会』によって推進している（3年間）。

この事業により太陽光発電やペレットストーブ・薪ストーブの導入に対して支給される交付金を活用し、地球温暖化防止の情報発信のシンボルとして市内への導入を促進した。

○太陽光市民発電所の設置

市民参加で自然エネルギー利用のモデル「フラッグシップ」となる発電所。長野市内の事業所や公共施設に太陽光発電パネルと発電システムを、寄付金型とファンド型の2つの運営方法によって設置した。

○森のエネルギー利用を推進

薪ストーブ、ペレットストーブの導入を支援し、そのユーザーをはじめとする市民が森作りに参加し、森林保全に取り組みながら再生可能エネルギーである木質資源の活用を進める。

活動内容一覧

実施日時	事業内容	実施場所	概要
2008/4/1～ 2008/10/30	フラッグシップ事業 ・温暖化防止ながのファンド管理 ・太陽光発電所設置事業 ・太陽光発電量総合表示板設置事業	長野市内 設置数 1) 太陽光発電所:5箇所 2) 発電量総合表示板:2箇所 発電規模:合計 42.0kw	イベントは 6ページに記載
2008/4/1～ 2008/10/30	森のエネルギー推進事業 ・森のエネルギー推進管理費 ・バイオマスストーブ設置助成	長野市内 設置数 1) ストーブ:10基 2) ペレットストーブ:19基	イベントは 7ページに記載

(7) 公共施設の維持・管理・運営を行政と協働で行う事業

①指定管理者プロジェクト

本NPOの事業目的である「公共施設の維持・管理・運営を行政と協働で行う」を実践するため、昨年度から2施設の指定管理者として、公共施設の利用促進・利用者へのサービス向上を目指し、NPOと行政機関との協働で維持・管理・運営を行った。長野市リサイクルプラザ（リフレッシュプラザ）はCO2バンク推進機構単独、長野市青少年錬成センターは共同事業体 信州地域ネットワーク・プロジェクト（代表：信州林業株式会社ほか4社）である。

また、長野市青少年錬成センターを拠点とした小田切地区の地域資源と人的ネットワーク構築に向けた実践活動として、国立長野高専技術振興会「信州まち育て研究会」との協働により、里山観察会やビオトープ池の観察会等の活動を昨年度から引き続き行っている。

(1) 長野市青少年錬成センター

長野市青少年錬成センターは、小田切の美しい自然の中で、子どもたちに様々な活動の場を提供している。施設は、キャンプ場・体育館・グラウンド・音楽室・宿泊施設などがあり、スポーツ団体・育成会・小学校の高原学校などに利用していただいている。また、年間18回の自主事業を開催し、「自然体験」「地域交流」「世代間交流」などのレクリエーション・環境学習を提供している。今年度はセンタースタッフによる主体的な運営を行ったので、当NPOは運営支援・協力の役割を担った。

活動内容一覧

実施日時	事業内容	実施場所	概要
2008/4/1 ～2009/3/31	施設利用者	長野市青少年 錬成センター	延べ利用者数 21,330名
2008/5/23 ～2009/3/28	自主事業 計18回	長野市青少年 錬成センター	参加者計1,698名

(2) 長野市リサイクルプラザ

長野市リサイクルプラザは、リサイクルの情報発信地として、情報コーナー・レインボー広場などのごみの減量・再利用の情報、体験講座・教室などの提供、年間6回行うリサイクル広場などの不用品の展示・提供、さらにリサイクルを推進する市民グループ（リサイクル連絡会）の活動の場を提供している。

活動内容一覧

実施日時	事業内容	実施場所	摘要
2008/4/1 ～2009/3/31	施設利用者	長野市リサイクルプラザ	利用者総数 24,798名
2008/4/5 ～2009/3/28	ボランティア団体利用 (リサイクル連絡会 13グループ)	長野市リサイクルプラザ	利用者 1,134名
2008/4/6 ～2009/3/18	ゆめ工房 21 体験講座 (6グループで 48回開催)	長野市リサイクルプラザ	参加者 619名
2008/6 2009/2	着物のリフォーム教室 (4週連続の日曜日)	長野市リサイクルプラザ	参加者 119名
2008/5, 7, 9, 11 2009/1, 3	リサイクル広場 (奇数月に 6回開催)	長野市リサイクルプラザ	利用者 3,765名
2007/4/21 ～2008/3/22	自主事業 28回開催 (出前講座 6回、長野市協働講座 1 回、展示・アート展各 1回)	長野市リサイクルプラザ	参加者 1,469名
2009/2/22 ～2009/2/28	『廃材アート 2009』 廃材を利用したごみ減量化（環境） へのメッセージ	長野市リサイクルプラザ	参加者延べ 422名
2008/5, 6, 9, 10	フリーマーケット 4回開催 (共催)	長野市リサイクルプラザ	参加者 5,700名
2008/9/7	ながの環境フェア 2008 開催 (共催)	長野市リサイクルプラザ	参加者 5,500名

『廃材アート 2009』 廃材を利用したごみ減量化（環境）へのメッセージ

使われなくなったものや、日頃捨ててしまうものなどに対するリサイクルの普及・促進として、身近な廃材に、新たに命を吹き込みながら、環境について改めて考えるひとつのきっかけとなることを目的として「廃材アート 2009」を廃材アート実行委員会と共同で開催した。2月22日から28日まで出展者30名、出展作品58点で開催し、延べ422名の見学者となった。

長野市リサイクルプラザでの開催のほか、長野市役所に会場を移動しての展示としたが、不用品を使っただけの作品が新鮮であり、どの会場でも反響が多く好評であった。